



ドリスタカップ2020プロボウリング男子新人戦

8月29日/ドリームスタジアム太田

コロナ禍のなかの再開第1弾 藤村隆史が新人戦を有終V



コロナ禍でストップしていたプロボウリングのシーズンが動きだした。その初戦となった『ドリスタカップ2020プロボウリング男子新人戦』が、8月29日、群馬・太田市のドリームスタジアム太田で行われ、57期14名、58期6名が無観客のなか熱戦を繰り広げたが、57期プロテストをトップ合格の藤村隆史(ラウンドワン/ABS)が、出場資格最終年に優勝、プロ初タイトルを獲得した。(主催:(公社)日本プロボウリング協会 特別協賛:ドリームスタジアム太田)

▲「課題を克服してレギュラーツアーでも活躍できるように…」と藤村

男子の新人戦出場資格はデビューから3年目までだが、今年のプロテストが中止になったため、57、58期の2期計20名によって争われた。また新型コロナウイルスの感染予防のため、無観客での実施となったほか、大会前日には出場選手、大会関係者は全員が抗体検査を受けるなど、通常のトーナメントとは全く異なる雰囲気の中での大会となった。

が、決勝前のボール検量時に違反ボールの使用(未登録ボールの使用)が発覚したために、1566で次点の福田尊仁が繰り上がりで決勝に進んだ。ちなみに58期は山田だけで、残る7名は57期という顔ぶれとなった。

藤村、佐藤の一騎打ち

決勝は8名による総当たりラウンドロビンで行われた。

藤村は「ラウンドロビンの前にリメンテして、朝イチと同じ条件になったはずだけど、朝よりもキャリアダウンを早く感じて苦労した」と、1G目から3G目まで3連敗。逆に3連勝の北原に、この時点でトップを明け渡したが、続く4G目に259を打ってトップを奪い返した。

6G目にも247を打つなど、独走態勢を築いたかと思われた藤村だが、総当たり戦最後の7G目は151で敗れ、2G目



▲58期で孤軍奮闘の山田「予選の序盤でつまらずいたことを思えば上出来だけど、2位はやっぱり悔しい。帰って練習し直します」

予選は前・後半4Gずつの8Gを投球、上位8名を決勝に選出した。予選前半913を打ってトップで折り返した藤村隆史が、後半も1位の866と伸ばしてトータル1779の1位通過。前半892で2位の原田裕史が後半はやや伸び悩んだものの、藤村から95ピン差の2位につけたほか、1610の神山匠、1605の佐藤貴啓、1603の北原泰輔、1600の山田成人、1574の高安真司、そして1611で3位の大沼遼

からの4連勝で2位に上がってきた佐藤が22ポイント差に肉薄してポジションマッチを迎えた。

3位の山田も藤村から73ポイント差で、わずかにチャンスを残していたが、3、4フレのダブルのあと連続スプリットで失速。勝利ボーナスが30ポイントだけに、勝った方が優勝の藤村と佐藤の対戦は、ストライクスタートの藤村に対し、佐藤は②⑤⑨をカバーミスでオープンのスタート。藤村はその後も



左レーンはストライクがくるものの、右レーンの攻略に苦しみダッチマンスタイル。しかし佐藤は「ボールの選択もあいま



▲ラウンドロビンで一度はトップに立ったが、最終結果は3位の北原「途中でオイルがキャリアダウンしてから、迷子になってしまった。もたいなかった」



▲父親が造ったセンターが会場の大会で優勝に届かず「本当に悔しい。今は頭が真っ白。練習量を増やして自信を持てるようにしたい」と佐藤



▲会場センターの佐藤則明代表は「無事終了し、次のトーナメントにバトンをつなげられてホッとしています」と閉会のあいさつ

いだったし、いろんな雑念があった」と、後半は3つのスプリットで155とスコアを落として4位に後退。藤村がコロナ禍という忘れ難い年の新人戦チャンピオンに輝いた。

優勝・藤村のコメント

1年目が5位、2年目が4位ときていたので、最終年の今年は絶対に優勝したいという思いが強かった。新型コロナウイルスで自粛期間中から、フィジカルトレーニングを取り入れてフォームを安定させてきたつも

りだったけど、いざ試合となるとかんでしまった。優勝という結果はうれしいけど、内容についてはまだまだ甘い部分が多くて課題が残った。そういう部分で次につながる大会だったかなと思う。(優勝ボール:PRO-amジ・エンペラーブラック)



▲ギャラリーのいない、静かな大会となった

●ポジションマッチ

藤村 隆史	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	7	7	9	9	9	9	8	8	9	-
	20	40	60	80	100	120	140	158	177	186
佐藤 貴啓	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	7	2	9	9	9	9	2	2	9	8
	9	28	47	66	83	92	111	120	137	155